



雪崩・地すべり 研究センターたより

季刊・第64号
2013. 3月発行

Snow Avalanche and Landslide Research Center, Erosion and Sediment Control Research Group

主な記事 ・降雨による湿雪雪崩の発生に関する実験 ・トピックス（積雪観測講習会、地すべり防止施設点検学習会、雪崩災害に備えた講習会、新春講演会など） ・転出者あいさつ

降雨による湿雪雪崩の発生に関する実験



作成した多層構造の積雪と実験装置

1月28日から2月1日に、(独)防災科学技術研究所 雪氷防災研究センター新庄支所（山形県新庄市）の雪氷防災実験棟低温室において、降雨による湿雪雪崩の発生に関する実験を行いました。

これは同研究所との共同研究「降雨による湿雪雪崩の発生機構に関する研究(2)」の実験であり、当センターから5名、札幌の寒地土木研究所から3名、防災科学技術研究所から3名が参加しています。実験では、傾斜させた多層構造の積雪に降雨装置による水分を浸透させ、積雪構造変化の観察、密度・含水率等の測定を行いました。



積雪層の含水率測定の様子



積雪構造の観察の様子

トピックス

■積雪観測講習会

1月15日と3月14、15日に、当センターにおいて新潟県の職員などを対象に第2回の積雪観測講習会を開催しました。この講習会では、当センター内で積雪の基本的性質及び積雪観測方法に関する講義を受けた後、野外で積雪観測の実習を受けていただきました。



講義の様子



積雪観測実習の様子

■地すべり防止施設点検学習会

12月17～18日に、「第7回地すべり防止施設点検学習会」が、国土交通省利根川水系砂防事務所、群馬県砂防課主催により群馬県藤岡市で開催されました。この学習会は、関東甲信地区の国、都県、研究機関の地すべり担当者が、地すべり防止施設の維持管理手法について学習するものです。当センターからは丸山が参加し、「地すべり防止施設の維持管理－地表水・地下水排除施設－」と題して講義を行いました。



■雪崩災害に備えた講習会

1月9日に、「雪崩災害に対する警戒体制に係る講習会」が新潟県の主催により南魚沼地域振興局管内で開催されました。この講習会は県職員を対象としたものであり、当センターからは野呂・池田が参加しました。なお、講師は(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター、町田建設(株)、当センターが担当しています。現地実習では、積雪前に一度確認している雪崩危険箇所を改めて観察し、積雪の有無による斜面状況の違いや危険性を判断するポイント、不安定な斜面積雪の早期除去などについて意見交換が行われました。



■新春講演会

2月8日に、長野市で(社)斜面防災対策技術協会中部長野県支部の新春講演会が開催されました。この会は、会員相互の技術の向上を図るために開催されたものであり、講演と優良技術者受賞者の技術発表が行われました。講演では、当センターの丸山が「最近の雪崩・地すべり研究センターにおける研究」と題して、国川地すべり、地すべり対策概成斜面の地震による変動発生状況、地すべり地における地表水・地下水排除施設の維持管理についてそれぞれ紹介しました。



■新潟県地すべり対策研究会

2月15日、新潟市で新潟県地すべり対策研究会の第1回部会が開催されました。この会には、日本地すべり学会新潟支部、土木研究所雪崩・地すべり研究センター、NPO 新潟県砂防ボランティア協会、国土交通省北陸地方整備局、新潟県地すべり防止工事士会、新潟県治山課、農地建設課、妙高砂防事務所、砂防課(事務局)が参加しています。



■檜枝岐村の雪崩調査

3月5日に、福島県檜枝岐村大根卸で発生した大規模な雪崩の調査を実施しました。この雪崩は、2

月25日の栃木県北部を震源とする地震後に発生したものであり、国道352号を約60メートルにわたって遮断し、国道沿いの伊南川を越え対岸まで到達しました。



この調査には、当センターの伊東と中村、寒地土木研究所2名、(独)防災科学技術研究所雪氷防災研究センター新庄支所2名、福島県庁、檜枝岐村役場の職員が参加しました。雪崩の調査では、発生地点、流下経路の断面形状、樹木の破損状況の各確認と、雪崩堆積物の積雪断面観測などを実施しました。

■上越市柿崎区の防雪柵調査

2月24日、新潟県上越市柿崎区馬正面では、地吹雪などを防ぐ防雪柵が強風により20mにわたって破損しました。このため、3月6日に当センターの伊東が新潟県上越地域振興局の依頼により、県職員らと現場の確認を行いました。



■転出者あいさつ

■所長 野呂智之

在任中は東日本大震災や翌日の長野北部地震、一昨年の上越市国川地すべりと新潟の内外で大きな災害が立て続けに起こり、改めて国土保全の重要性を痛感しました。当センターは、融雪地すべりの多さ故に特別にこの場所に設けられた研究所です。今後ともお困りのことがあればお気軽にご相談いただければ、と思います。3年間にわたり地域の方々には大変お世話になりました。ありがとうございました。




■受入研究員 Willi Pose (ヴィリー ポーゼ)

私のインターシップは終わりましたが、日々充実していたので、まだ帰りたくないです。滞在中、驚くほどたくさんの雪を見て勉強しました。-18℃の低温温室で実験するという体験をとおして自分が寒い環境が好きであることを知り、白馬での仕事では、雄大な日本アルプスを体験することができました。皆様にとっても親切に接していただいたことに感謝いたします。また雪の上でお会いしたいです。



雪崩・地すべり研究センターに関する記事は、ホームページにも掲載してありますので、ご覧下さい。

発行: 独立行政法人 土木研究所 つくば中央研究所
土砂管理研究グループ 雪崩・地すべり研究センター 
住所: 〒944-0051 新潟県妙高市錦町2-6-8
TEL: 0255-72-4131 FAX: 0255-72-9629 URL: <http://www.pwri.go.jp>
掲載内容は現時点までの調査結果等に基づいています。今後の調査研究により内容の一部または全部に変更が生じる場合があることをご了承下さい。